

スマートレジリエンスネットワーク EV-Grid連携活用検討会 での検討状況について

2026年3月19日

EV-Grid連携・活用検討会について

2024年2月まで経済産業省で開催されていたEVグリッドワーキンググループとりまとめを受けて、民間事業者間(自動車OEM、アグリゲータ、一般送配電事業者等※1)での検討の場をスマートレジリエンスネットワークに設置し、2024年9月より2025年2月末まで5回に亘り、DERとしてEVを活用する際の条件・必要なアクションについて意見交換した。

(※1 参加委員 : トヨタ自動車、日産自動車、本田技研工業、三菱自動車工業、エネルギーリソースアグリゲーション事業協会、関西電力送配電、東京電力パワーグリッド)

EV活用の
ユースケースの区分

- ① スマートチャージング(需要家向けエネマネ)
- ② アグリゲーション・BG運用(小売・RA向けエネマネ)
- ③ 需給運用
- ④ 系統運用(配電等系統混雑緩和(DER FLEX的な運用))

ユースケースの鍵となる
ユーザビリティ

個宅、集合住宅、法人駐車場といった場での充電の代表的なユースケースにおけるユーザビリティの確保が重要

連携すべきデータ項目
を選定中

データ連携の際
必須となる項目

データ連携の際
望ましい項目

車両側

その他

- ① 充放電可能量(kWh/kW情報)
- ② プラグの接続情報
- ③ 車両識別番号
- ④ タイムスタンプ

供給地点特定番号

- ⑤ 車両位置情報(緯度経度)

- ⑥ その他情報(運行予定)

今後の取り組み予定

データ収集の際の留意点や制度化の姿についてさらなる検討を行う。

2025年度は、「ユースケース①・②深堀」として、2024年度に検討した6つのデータ項目の妥当性に対する検証や、「ユースケース③・④拡大」についての認識共有等を実施。2026年度は小売事業者の視点も入れた検討も進めていきたい。

検討の方向性

具体化の手立て

論点A ユースケース ①・②深堀



■ 方針

- 2024年度に検討してきた**6つのデータ項目**※の妥当性に対する検証
- ※ ①充放電可能量(kWh情報)、②プラグの接続情報、③車両識別番号、④タイムスタンプ、⑤車両位置情報(緯度経度)、⑥その他情報(運行予定)
- データ頻度などの**非機能要件**について「協調領域」の範囲内であるべき要件の検討(次頁詳細)

論点B ユースケース ③・④拡大



■ 方針

- 需給調整市場のルールに、不確定要素が残るという理由から、必要に応じて、勉強会等で前提統一から始めていく

検討内容の具体化については、**JAMAでの検討の場やJEMAとの連携を踏まえ、必要な知見提供を行っていく。**

(参考)ユースケース区分)

- ①需要家向け(ユーザー観点での活用)
- ②電力小売・アグリゲーター向け(BG観点での活用)
- ③需給運用向け(全系統観点での活用)
- ④系統運用向け(混雑緩和の観点での活用)

検討の優先事項を、「データ項目・頻度の妥当性」とし、小売業務の中でEVのデータがどう活用されるか、「30分」「6項目」の必要性を再度、議論する。車両制御は、「JAMA DR活用WG」と相談しながら検討。

論点A

ユースケース①・②深堀

データ項目の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 小売電気事業者のユースケースにおける6つのデータ項目の妥当性
データ信頼性	<ul style="list-style-type: none"> 車両制御の際に、テレマ経由で起きうるデータ欠損・遅延への対応 スマメ計量、充電器、テレマからのデータが一致しない場合、何を真値とするか
データモデル	<ul style="list-style-type: none"> 実際にアグリゲーター・小売・TSO⇔OEMで、どのようなデータ形式・フォーマットでやり取りするのが望ましいか
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> 他のDRready機器のセキュリティ要件等を踏まえつつ、車両制御時にどのようなセキュリティ要件を適用すべきか

第10回検討会議議題にて、小売電気事業者を招き、業務の中でEVのデータがどう活用されるか、「30分」「6項目」で十分かを議論

全ての深堀案について、各社からそれぞれ検討の有効性に賛同いただけたため、今後、「JAMA DR活用WG」と相談しながら、議論の優先順位を検討

論点B

ユースケース③・④拡大

事業性	<ul style="list-style-type: none"> 次期EVに必要となる機能を検討する上での今後の制度設計の見通し（背景：どのような機能を実現するかによって、データ収集頻度が変わりサーバー構築等費用に関係する。よって、そのような機能を決める上でインプットとなる情報がほしい。）
-----	--